

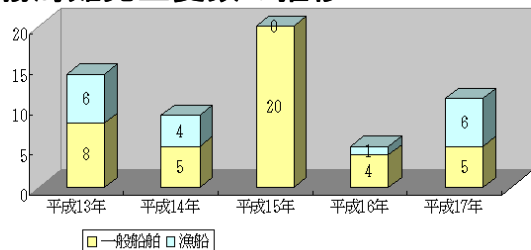
山口大学との共同研究による海霧検出手法の開発と実用化

研究目的

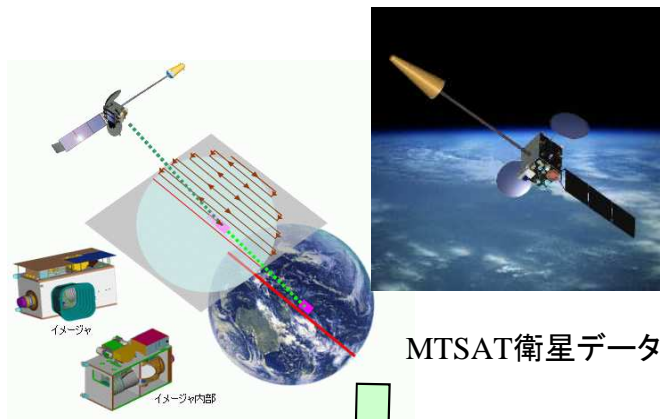
霧海難の発生削減を目的とする

現状の海霧情報(主に点情報)の不足を補う
面的かつ頻度の高い情報を開発する。

霧海難発生隻数の推移



定期フェリー航路の現場観測

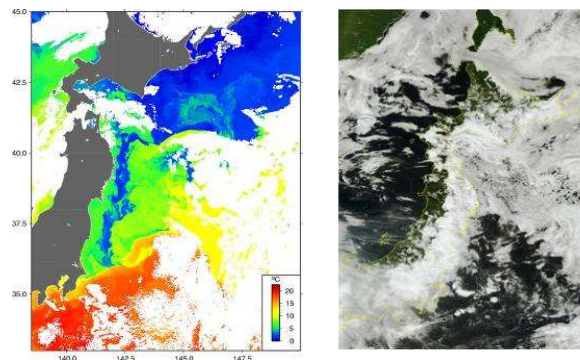


MTSAT衛星データ

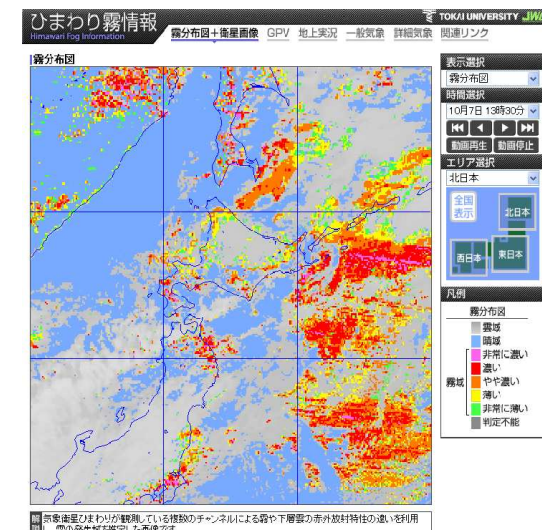
研究内容

1. 現場観測、衛星観測データ収集
2. 海洋現場観測システム構築
フェリーによる現場観測の実施
3. 海霧検出アルゴリズムの高度化
4. 海霧情報提供システム構築

水温・可視・赤外観測データ



公開中の「ひまわり霧情報」



研究成果(海霧推定値提供中)

海霧情報プロダクト

- ・日本周辺海域で解像度約4kmの面的情報
- ・30分毎に情報更新
- 海霧の発達・移動・衰弱等の動態把握ができる